

校訓 正しく 明るく 健やかに

2月12日発行



居心地のよい空間

校長 加藤 弓子

「みなさん、お待たせいたしました。お時間になりましたので、アシカショーを始めたいと思います。でも、ラブちゃんはおなかに赤ちゃんがいるので、芸はできません…」

そんな少し拍子抜けするようなアナウンスで始まったアシカショー(?)。お客さんから数メートルの距離という近さの中で、ゆったりとした時間が流れていきました。ショーのあとは、なぜか水族館にいるカピバラの水槽へ。育児中のためショーは中止とのこと、お母さんカピバラと5頭の小さなカピバラが、気持ちよさそうに眠っていました。ふと足もとに目を向けると、水槽の前に注意書きが貼られていることに気づきました。

『ここには乗らないでね。高級うなぎなら毎日10年分食べれるぐらいリッチなガラスです。優しくしてあげてくださいね』

「ここには乗らないで」というだけなら、よくある張り紙です。でも、そのあとに続いた言葉に、思わずクスッと笑ってしまい、言葉がずっと心に入ってきました。

少ない予算の中、たくさんのアイデアと工夫で人気のスポットとなってきた竹島水族館。手書きの紹介パネルや、ゆったりとしたショータイムから、飼育員の皆さんの生き物への愛情、そして館長さんを中心とした飼育員の皆さんの仲の良さが伝わってきました。おかげで、とても居心地のよい時間を過ごすことができました。

今、3年生の教室をのぞくと、手作りの「卒業まであと〇〇日」という文字が目に入ります。1月から入試も始まり、緊張感のある空気も感じられますが、フロアに足を踏み入ると、ふっと心が和らぐ温かさに包まれます。個性豊かな子どもたちが一つにまとまっている空気が伝わってきて、子どもたちと先生たちが、居心地のよい時間と空間を大切に育んできたのだなと感じます。

子どもたちは、3年間という同じ時間を共に過ごし、やがてそれぞれの場所へ巣立っていきます。その中には、友だち同士でもめたり、悩んだりすることもあります。でも、そんな経験を重ねながら、お互いの個性を認め合い、周りの人を、そして自分自身を大切にする心を育んでいきます。そこには、安心して過ごせる居心地のよい空間が必要なのだと、あらためて感じました。

第79回卒業証書授与式

今年度の卒業証書授与式を以下のように挙ります。入学してから3年間を経て、それぞれ立派に成長した姿で本校を巣立っていきます。卒業生の保護者の皆様、ぜひご参列いただき、晴れの姿を見守っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

日 時 令和8年3月6日(金) 9時20分～11時頃(見送り11:40頃)

*保護者受付 8時50分開始

場 所 品野中学校 体育館



登校時間が変更になります

4月より、朝の登校時間が変更になります。生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、教職員の勤務時間開始時刻に合わせ、生徒の登校時間を以下の通り変更いたします。

変更前：8:00～8:15

変更後：8:15～8:25

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



スクールカウンセラーだより

「冬は心と体の揺れやすさがある」

スクールカウンセラー 西 真裕

寒さが厳しい日が続いたと思ったら急にふと緩んだりして、体調が崩れやすい時期でもあります。また、二月は朝起きにくかったり、やる気が出にくかったり、気分が落ち込んだりする人が増える季節です。

「冬は心と体の揺れやすさがある」と経験的に知っている昔の人たちは、日向ぼっこをしたり、冬でも家の手伝いや外仕事で体を動かしたり、ミカンの皮を乾燥させてお風呂に入れたり、生姜や味噌を使った料理を食べたり様々な工夫をしてきました。湯たんぽやこたつも安心感につながる道具でした。

冬は無理に活動しすぎない季節と考えられ、夜は早く休む暮らしをしていたそうです。今でいう日光療法やアロマセラピーや運動療法や食事療法と関連しています。自然と心と体のセルフケアの概念を発達させてきたのですね。少し朝の光を浴びる、温かいものをとる、早めに休む。そういったことが心と体を守る助けになります。

春になると色々と環境も変化していきます。そこに備えて体と心をいたわりながら過ごしていきたい時期ですね。

☆3月スクールカウンセラー来校日 (在校時間11:30-16:00)

3/6(金) 3/13(金)

※カウンセリング内容は生徒さんにかかわることであれば何でも構いません。

ご希望の方は学校までご連絡ください。

